

5. 水利用の現状

5-1 水利用の実態

渚滑川水系における利水の現況は、表 5-1に示すとおりであり、許可水利権は 9 件あり、発電を除く最大取水量の合計は約 1.2m³/s である。この内、農業用水としては約 3,300ha の耕地に最大約 0.9m³/s が許可されている。

表 5-1 渚滑川水系水利用現況

種 別	件数	取水量 (m ³ /s)
かんがい用水 (かんがい面積:3,320.4ha)	2	0.896
水道用水	1	0.247
工業用水	1	0.029
その他	3	0.030
(小 計)	7	1.202
発電用水(最大取水量)	2	6.620
合 計	9	7.822

参考文献：一級水系水利権調書(北海道開発局) 平成 19 年 2 月現在

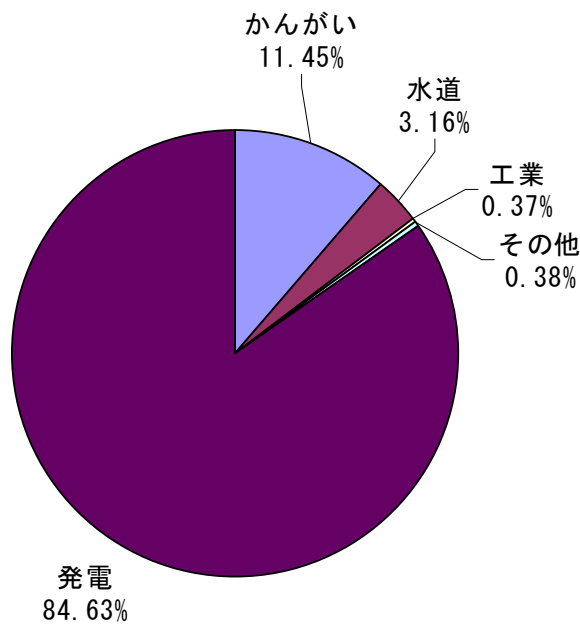


図 5-1 目的別水利用割合

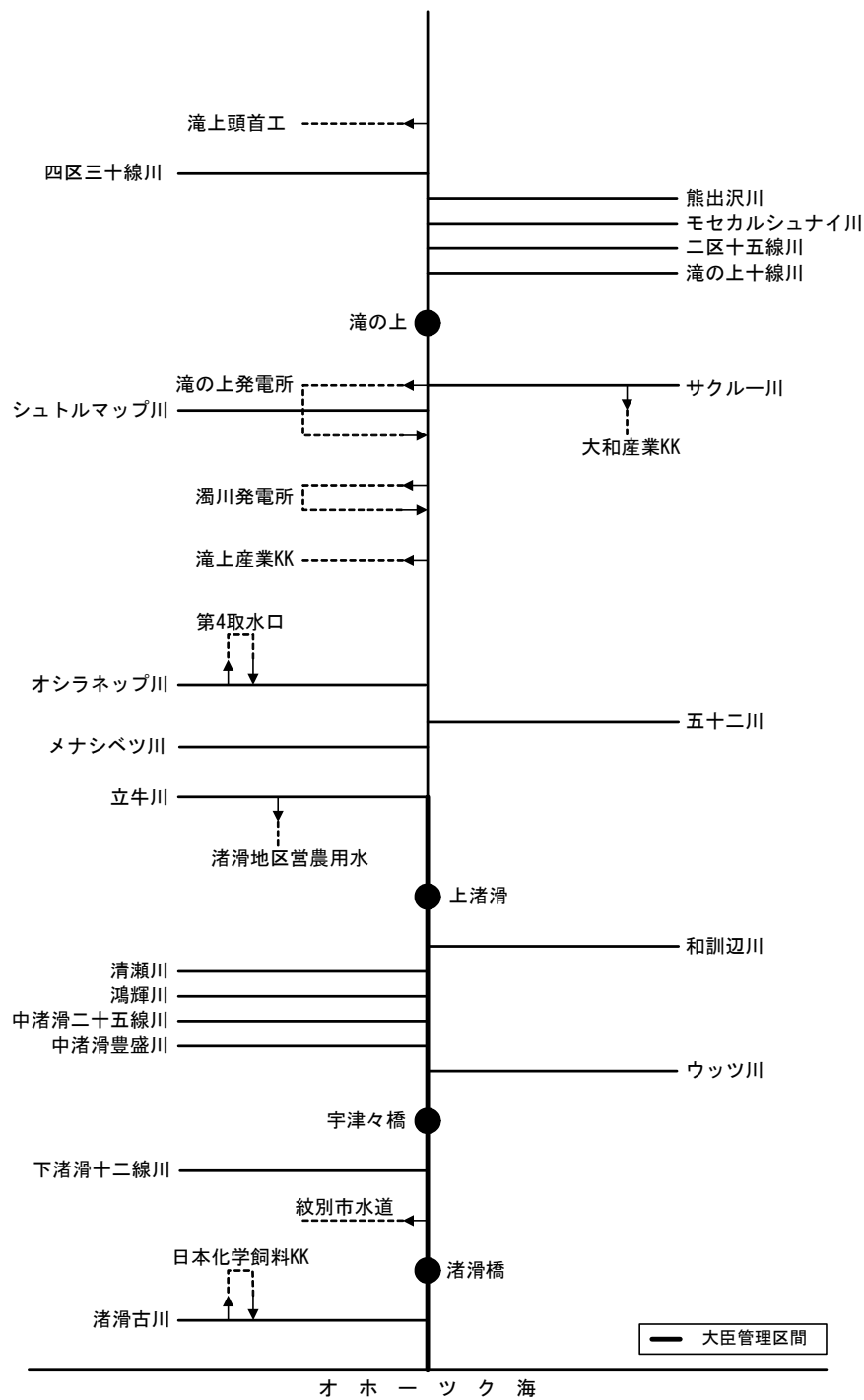


図 5-2 渚滑川 水利模式図

5-2 渇水被害及び渇水調整

渚滑川流域は、降水量が少ないにもかかわらず、広大な森林による保水機能や天塩岳などの融雪水、気温の低いことから過去において水不足などで大きな問題は生じていない。発電用水に代表される利水においても渇水時において渇水被害の報告はされていない。